

Botanical Design

第23回企画展

ボタニカル デザイン

— 植物のかたち、その観察 —

2019年

4月20日(土)～6月16日(日)

観覧時間：平日は午前9時～午後5時まで、土・日・祝は午後
(最終入場は、閉場の30分前まで)

休館日：4月22日(月)、5月7日(火)、13日(月)、20
27日(月)、6月3日(月)、10日(月)

こども
無料
(高校生以下)

主催：三重県総合博物館 協力：株式会社 赤塚植物園 後援：三重県博物館協会 助成：公益財団法人 岡田文化財団

beyond
2020

第23回企画展

ボタニカル・デザイン

— 植物のかたち、その観察 —

2019年 4月20日(土)～6月16日(日)

| 観覧料金 | 企画展 | セット券 | 基本展示 |
|--|------------|--------------|------------|
| 一般 | 800円(640円) | 1,040円(830円) | 510円(400円) |
| 学生 | 480円(380円) | 620円(490円) | 300円(240円) |
| 高校生以下 | 無料 | 無料 | 無料 |
| 年間パスポート(すべての展示フリーパス) 一般1,640円 / 学生1,020円 | | | |

()内は20名以上の団体料金。身体障害者手帳をお持ちの方とその付き添いの方1名様は観覧料無料となります。毎月第3日曜日は家庭の日で、正規観覧料の2割引でご覧いただけます。

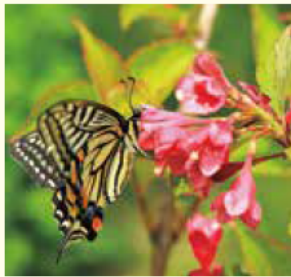
植物は自由に移動することができません。動けないからこそ、花やタネ、葉の形に工夫をこらし、子孫を残そうとしてきました。今回は、植物のさまざまな「かたち=デザイン」に焦点を当てます。道端の花や、服につつくタネなどの身近な植物をはじめ、食虫植物や窓のある植物など普段目にしない植物までも取り上げて、植物の形の意味を考え、そのおもしろさを紹介します。

また、園芸や盆栽、農作物など人が変えた植物の形や、縁起物とされる植物のデザインなども展示。

さらに第2会場では、さまざまな形の植物を集めたミニ植物園を開園します。

1章 花のしかけ

次の世代を残すために、花粉を運ぶ。誰が運ぶ？



タニウツギの花を訪れたアゲハ

2章 タネの旅

タネは、植物が移動できる最大のチャンス。周囲の「動く力」をたくみに利用する。



タンポポのタネ(風による散布)

3章 葉のくふう

光を得る、水をためる、身をまもる。生きぬくために、くふうされたかたち。



イタカムシトリスミレ(食虫植物)

4章 ボタニカル・デザインと人のくらし

わたしたちのくらしの中にある、植物のかたち。



わらびかご

関連イベント

記念講演会 「バナナはどこからやってきた？」

アイスクリームでおなじみの「バナナ」が、植物であることをご存知でしょうか。身近な食材でも、どのような旅を経て私たちの食卓にのぼるのか、知らないことはたくさんあります。

今回は、世界の自然を取材している写真家・山口進さんを講師におむかえし、バナナやパナナなどの植(食)物、さらには植物の花と昆虫との共生まで、幅広いお話を伺います。食材を見る目がちょっと変わるかもしれない、講演会です。

日時：2019年4月27日(土) 午後1時30分から3時まで
場所：レクチャールーム(三重県総合博物館 3階) 定員：80名

申込締切：2019年4月6日(土)

申込方法：往復はがき(必着)または電子申請

※電子申請は、当館ホームページのイベント案内からお申し込みください。

アドレス <http://www.bunka.pref.mie.lg.jp/MieMu/84927046739.htm>

右記のQRコードからもアクセスできます。



※1通の申し込みで最大4名様までです。代表者の氏名、住所、当日連絡が取れる電話番号、参加者全員の氏名、年齢を記入してご応募ください。

※応募者多数の場合、抽選となりますので予めご了承ください。

※席に余裕がある場合には、締め切り後も参加を受付けます。当館までお問合せください。

申し込み・問い合わせ先

〒514-0061 三重県津市一身田上津部田3060 電話:059-228-2283

三重県総合博物館「ボタニカル・デザイン講演会 係」



講師紹介
やまぐち すずむ
山口 進

三重県生まれ。自然写真家・ジャーナリスト。地球上のさまざまな「共生」をテーマに、世界中で取材活動をしている。おもな撮影・著作としてNHK自然番組「ダーウィンが来た」等の企画撮影や、40年にわたる「ジャポニカ学習帳」(SHOWAノート株式会社)の表紙撮影がある。

ギャラリートーク

担当学芸員が展示を解説します。
4月21日(日)、5月12日(日)、
6月9日(日) 午後2時から
申込不要。当日、企画展示室にお集まりください。
(企画展の観覧券が必要です。)

次回は開館5周年記念特別展 「この男がジブリを支えた。 近藤喜文展」



「目をすませば」絵コンテ(部分)

©1995 終あおい集英社・Studio Ghibli・NH

MieMu 三重県総合博物館

みえむ Mie Prefectural Museum

三重県津市一身田上津部田3060(三重県総合文化センター向かい) 〒514-0061
tel 059-228-2283(代表) fax 059-229-8310 mail MieMu@pref.mie.lg.jp
web <http://www.bunka.pref.mie.lg.jp/MieMu/>
twitter @mie_pref_museum
facebook <https://www.facebook.com/mie.pref.museum>

【開館時間】午前9時～午後7時 ※展示エリアは平日午後5時まで、土・日・祝は午後7時まで(最終入場は、閉場の30分前まで)

【休館日】4月22日(月)、5月7日(火)、13日(月)、20日(月)、27日(月)、6月3日(月)、10日(月)

【アクセス】公共交通機関：津駅(近鉄名古屋線、JR 紀勢本線、伊勢鉄道) 西口下車、津駅西口から三重交通バス(「総合文化センター行き」「夢が丘団地行き」) 約5分、「総合文化センター前」下車/徒歩：津駅西口から約25分/自動車：伊勢自動車道「津IC」から約10分、「芸濃IC」から約15分

